

日本経営システム学会における全国大会の開催報告

永松 陽明*1・金子 勝一*2・丸山 宏*3

2018年10月12日（金）から14日（日）の三日間、第61回日本経営システム学会全国研究発表大会を開催しました。

12日はエクスカージョンとしてバスツアーを設定し、明治時代の歴史遺産を数多く展示する明治村とMRJ（Mitsubishi Regional Jet）を生産する三菱航空機の工場見学を行いました（Fig. 1 参照）。



Fig. 1: 明治村での蒸気機関車の乗車風景

13日と14日は、愛知県岡崎市の愛知産業大学を会場として大会を開催しました（Fig. 2 参照）。

岡崎市にはご当地キャラクター「オカザえもん」があり、予稿集を愛知産業大学特製大学オカザえもんバッグで提供しました（Fig. 3 参照）。

日本経営システム学会では、未来思考的な姿勢で企業経営の諸問題をとらえ、「経営を工学、情報、社会科学の横断的視点からデザインする」ことをキャッチフレーズとし、現実的で有効な思考と手法の開発に貢献することを目標に組織運営をしてきました。大会は毎年2回開催し、活発な討議を行っています。

その目標・活動を踏まえ、今回の大会では「第5期科学技術基本計画（2016年1月閣議決定）」、「未来投資戦



Fig. 2: 会場の愛知産業大学



Fig. 3: オカザえもんバッグと予稿集

略 2017 - Society 5.0 の実現に向けた改革 - (2017 年閣議決定)」において重要なキーワードとなった「Society 5.0」に着目し、「ソサエティ5.0と経営システム」を統一論題としました。基調講演は、一般社団法人中部経済連合会で2018年2月に「中部圏5.0の提唱～中部圏によるSociety 5.0の姿と実現に必要な努力～」を中心となってまとめられた中部経済連合会審議役・調査部長の川瀬康博氏による「Society 5.0と中部圏におけるケーススタディー」の発表がありました（Fig. 4 参照）。

また、特別講演ではソサエティ5.0において重要な技術となるAI（Artificial Intelligence: 人工知能）を題材として、愛知産業大学造形学部スマートデザイン学科教授の伊藤庸一郎氏による「AIによるやさしさ」の発表が

*1 日本経営システム学会大会委員長・横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科 准教授

*2 日本経営システム学会常任理事・山梨学院大学経営情報学部経営情報学科 教授

*3 第61回大会実行委員長・愛知産業大学経営学部 教授



Fig. 4: 瀬川氏による基調講演

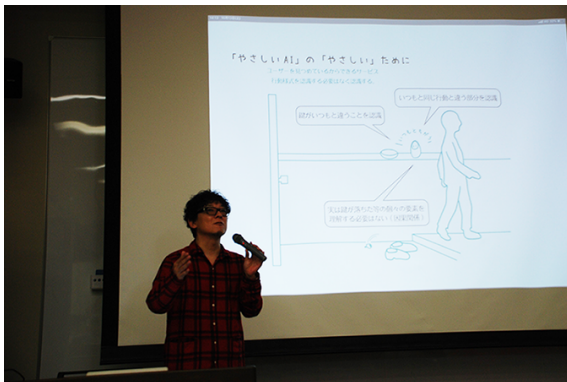


Fig. 5: 伊藤氏による特別講演

ありました (Fig. 5 参照) .

一般発表については、学会を代表する「経営品質科学活動部会」発表を中心に 43 件の発表がありました (Fig. 6 参照) .



Fig. 6: 一般講演 (経営品質科学活動部会) の様子

また、学生発表は 34 件の発表がありました。本学会では優秀な学生発表を表彰しており、今大会では 3 名の学生発表優秀賞を決定いたしました (Table 1 参照) .

一般発表、学生発表を通じたキーワードは、「IoT (Internet of Things)」や「ビッグデータ・オープンデータ」, 「ファジー」, 「県名思考性」, 「ものづくり・製品開発」, 「サプライチェーンマネジメント」など多様です。ご興

Table 1: 第 61 回全国研究発表大会学生研究発表優秀賞

所属大学名 学生名	発表名
早稲田大学 杉浦 裕文 氏	顧客ロイヤルティ要因が商品推奨行動に与える影響.
日本大学 秋葉 僚太 氏	電気自動車開発における関連研究分野とその連携に関する日米欧の比較研究
明治大学 山尾 健介 氏	情報の質量と高さを考慮した情報引力モデル

味を持っていただいた方は是非とも次回以降の大会にご参加ください.

懇親会は、13 日 (土) 17 時 30 分から愛知産業大学コミュニティホールにて行いました。愛知産業大学の堀越哲美学長よりご挨拶いただき、43 名の参加者で盛況の会となりました (Fig. 7 参照) .



Fig. 7: 懇親会の様子

次回の 62 回大会は、2019 年 5 月 25 日 (土) , 26 日 (日) に新潟国際情報大学新潟中央キャンパスで実施いたします。新潟駅より近い距離のキャンパスでの開催となります。詳しくは、本学会ホームページ (<http://www.jams-web.jp/information/actnatsc.html>) をご覧ください。

最後になりましたが、今大会は 139 名の方々に参加いただき、大きなトラブルもなく無事開催することができました。本大会にご協賛いただきました経営情報学会、研究・イノベーション学会、社会情報学会、情報システム学会、電子情報通信学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本経営工学会、日本情報経営学会、日本心理学会、日本知識情報ファジィ学会、日本人間工学会、日本品質管理学会に感謝いたします。また、ご協力いただいた関係各所の皆様に御礼申し上げます。